

# 【「話すこと・聞くこと」部会】 公開授業 I

## 第3学年 国語科学習指導案

指導者：熊本市立三和中学校 三角 貴志子

### I 題材名 「パネルディスカッションをしよう」(三省堂)

### II 題材について

#### 1 題材観

パネルディスカッションは論題に対して、互いの思いを伝え合う活動である。この話し合い活動は、コーディネーターがパネリストの立場の違いをふまえ、論点を整理して、ある方向性を持ちながら進めていくところに特徴を持つ。フロアも交えた意見交換の中で多角的な視点から物事を認識でき、友達の考えを知ることでも自らの考えや思いを豊かにさせる活動でもある。コーディネーター、パネリスト、フロアの立場の違いが必然的にそれぞれの立場の話す・聞く力を養うことになる。

本題材は話し手の意図を理解し、自分の意見と比較しながら聞き、さらに論理性の高い話し方ができるようになることをねらっており、そのことは自らの言語生活を豊かなものにすることにつながっている。日常生活に根ざした話題にそって、的確に「話す・聞く」ための言語技能を身につけ生かすことができる題材である。

#### 2 系統観

学 年	1 年		2 年		3 年
題 材	討論ゲームをしよう	スピーチで振り返ろう	ポスターセッションをしよう	対話劇を体験しよう	パネルディスカッションをしよう
関連する言語技能					
資料を用いながら話す		○	◎		○
説得力のある話し方をする			○	◎	◎
主張に対して質問・意見等を述べる	○				◎
必要なメモをとりながら聞く		◎	○		○
自分の考えと比較して聞く	○				◎
意見・根拠等を聞き分ける	◎	○	◎		○

#### 3 生徒の実態

本学級では 77 % の生徒が話すことが好きだと答えていて和やかな雰囲気の中で授業を進めることができる。しかし、あらたまった場での発言となると好きと答える生徒は 30 % で、発表に対して消極的である。聞くことに関しては聞き取りテストを継続的に行い、聞く姿勢はできてきた。話し合いには 51 % の生徒は「みんなの意見が聞ける」「新しい発見がある」などの理由から好きだと答えている。あくまで聞き手としてであり、話し手としては「好き」だとは言にくい。

アンケートによる生徒の実態調査は次の通りである。

- 説得力のある話し方ができる (6%)
- 根拠をあげて話すことができる (10%)
- 主張に対して質問意見を述べるができる (21%)
- 自分の意見と比較しながら聞くことができる (43%)

#### 4 研究の視点にそった授業の工夫

##### (1) 視点①「『話そう・聞こう』という意欲を起こす自己課題の持たせ方を工夫する」について

パネルディスカッションを支える言語技能の視点から、これまでの「話す・聞く」力を振り返ることで自己課題を意識させたい。特に本時では友達の姿をモデルとし、個人の目標を設定させ、実現に向けて意欲を高めたい。

##### (2) 視点②「的確に話したり聞いたりする力を身につけ生かす場を工夫する」について

生徒の実態からパネルディスカッションに必要な言語技能を明確し、それを習得する場面と応用する場面を指導計画の中に位置づけた。本時においては前半部分で質問や意見交換の仕方を学び、後半で実際にミニパネルディスカッションを行う場面を設定した。

##### (3) 視点③「身についた話す聞く力を実感できる評価を工夫する」について

毎時間ごとに自己課題をもとに言語技能が習得できたかどうか、自己評価を行い、それに応じた支援を行っていきたい。「できた」「上達した」と感じる事が、自信となり次への意欲につながる事だろう。また、グループ同士の適時性のある相互評価も取り入れ、客観的な判断力を養い、的確な自己評価ができるようにしたい。

### Ⅲ 学習指導の目標

- ・広い範囲から話題を求め、話したり聞いたりして、自分のものの見方や考え方を広めたり、深めたりすること。(Aーア)
- ・話の内容や意図に応じた適切な語句の選択、文の効果的な使い方など説得力のある表現の仕方に注意して、話したり聞き取ったりすること。(Aーウ)
- ・相手の立場や考え方を尊重し、話し合いが目的に沿って効果的に展開するように話したり聞き分けたりして、自分の考えを深めること。(Aーエ)

○相手の立場や考え方を尊重しながら、話したり聞いたりして、自分の考えを広げたり深めたりさせる。

### Ⅳ 指導と評価の計画 (7時間取り扱い)

★言語技能を習得する場面 ☆言語技能を応用する場面

次	時	学 習 活 動	評 価 規 準	評価方法
1	1	・パネルディスカッションの概要を知る。 ・テーマを設定する。	<関心・意欲・態度> 1 積極的に話し合いに参加しようとしている。 2 パネリストとして自分の考えを積極的に述べることができる。 3 パネリストの考えを受け止め、自分の考えを深めることができる。  <話すこと・聞くこと> 1 根拠をあげながら、説得力のある話し方ができる。 2 相手の立場や考えを尊重し、自分の考えと比較しながら意見を聞くことができる。 3 相手の立場や考えを尊重しながら、質問や意見を論理的に述べることができる。  <言語事項> 1 話す速度や音量、言葉の調子などに注意することができる。	観察 自己評価
2	1	・テーマについて調べ、自分の意見をもつ。		
	1	★パネリストとして主張する練習を行う。班に分かれミニパネルディスカッションを行う。(説得力のある話し方をする。)		観察 自己評価 相互評価
	1	★パネリストの主張に対して、質問☆や意見の練習を行う。班にわかれ、ミニパネルディスカッションを行う。(主張に対して質問・意見等を述べる。自分の考えと比較して聞く。)		
3	2	☆パネルディスカッションをする。	観察 自己評価	
4	1	・パネルディスカッションでの話し合いを振り返り自分の考えを深める。		

### Ⅴ 本時の学習

#### 1 目標

○内容に深まりのある意見交換の仕方を知り、話し手の意見に対して質問、意見を述べることができる。

#### 2 評価

評価項目	具体的な評価規準	つまずきへの手立て
関心・意欲 態度	・ミニパネルディスカッションに意欲的に参加している。	・コーディネーターを中心にグループ内で支援を行う。
話すこと・ 聞くこと	・自分の立場を意識した質問や意見を述べるができる	・質問や意見の型を提示し、型にそって考えさせる。

### 3 展開

★言語技能を習得する場面 ☆言語技能を応用する場面

過程	学 習 活 動	時間	基本発問・指示
導 入	1 前時の確認をし、本時のめあてを確認する。	3	○前回ミニパネルディスカッションをして良くできた点、改善が必要な点を発表してください。
<p>パネリスト同士の質問・意見交換を内容に深まりのあるものにしよう。</p>			
展★ 開	2 内容に深まりのある質問・意見交換について考え、自己課題を持つ。 ①ビデオを見て質問・意見交換の仕方について知る。  ② 自己課題を設定する。	10	○自分たちのパネルディスカッションとビデオのパネルディスカッションを比べてみよう。 ○内容に深まりを持たせるのはどんな話し方、聞き方だろうか。  ○自分で今日頑張ってみようと思う課題を決めよう。
	3 グループごとに、深まりのある質問・意見交換ができるように打ち合わせをする。	10	○グループごとに学習した内容をもとに打ち合わせをしよう。
☆	4 学習したことを生かしてミニパネルディスカッションをする。  ①パネリストの発表 ②パネリスト相互の質問・意見交換 ③フロアからの質問・意見 ④感想の発表 交代	20	○今、学習したことを生かしてもう一度互いにパネルディスカッションをしてみよう。
ま と め	5 本時の学習を振り返り、パネルディスカッションについて意欲を高める。	7	○今日の学習を振り返り、身についたことを書こう。

教師の支援	評価 ●は言語技能の評価 ( )は評価の方法	備考
<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の自己評価表に基づき、よくできた点、改善が必要な点を発表させる。</li> <li>・パネルディスカッションの流れを確認して、学習の目的を明確にする。</li> </ul>	<p>○前時の活動を振り返り、どんな言語技能が不足しているのか確認できたか。 (観察・挙手)</p>	<p>評価シート</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・パネリスト同士の意見交換に絞って話し合わせる。</li> <li>・内容が深まっていく具体的な言動に着目させる。</li> <li>・深まりのある質問や意見交換に必要な言語技能について整理する。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共通点、相違点を明らかにする。</li> <li>・自分の立場を意識して。</li> <li>・内容を絞ったり、広げたりする。</li> <li>・問いの形を工夫する。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・整理したポイントの中から自分に不足しているものを選ばせる。</li> <li>・班で質問や意見交換について内容を整理して、共通点や話題の柱となるものを出し合い、打ち合わせを行わせる。</li> <li>・つまづいている班や生徒には型を提示する。</li> <li>・1班4～5人で8班作る。</li> <li>・二班をペアとし、交代で発表させる。</li> <li>・フロアの班は聞き取りシートと付箋紙を使い、聞き取った内容を整理する。聞き取りシートをもとにフロアから質問させる。</li> <li>・フロアの班は評価シートに相互評価する。感想を交流する。</li> </ul>	<p>●パネルディスカッションの意見交換に必要な言語技能を理解し、自己課題が設定できたか。 (観察・学習シート)</p> <p>●学習したことを生かして質問や意見を出し合うことができたか (観察・学習シート・評価シート)</p>	<p>ビデオ プロジェクター</p> <p>学習シート</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自信につながるように、伸びたところを意識させる。</li> <li>・感想を発表させる。</li> </ul>	<p>○自己課題が達成できたか。 (シート・発表)</p>	<p>評価シート</p>